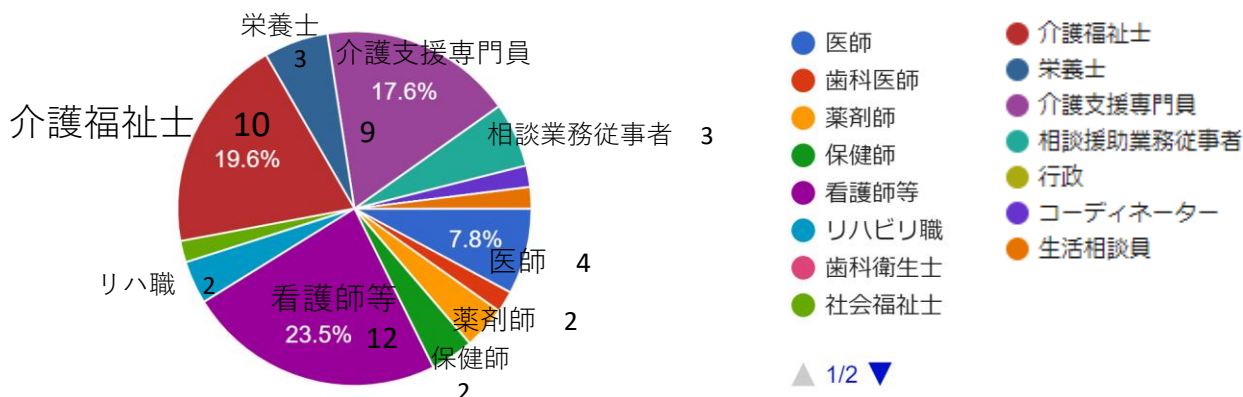


## 「高齢者施設におけるACPの取組」

参加者：会場55名  
Web42画面

### 1、職種：現在従事している主となる職種（一つ選択）

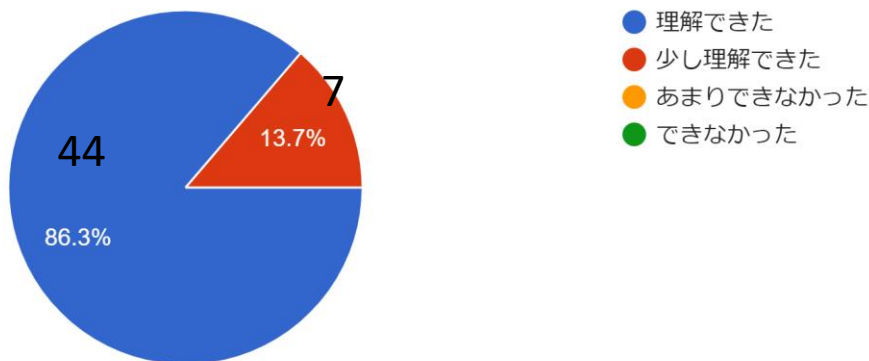
51件の回答



### 2、本日の講演の内容について理解できましたか。

(1) 県南保健所所長 安藤隆雄先生の講演について

51件の回答



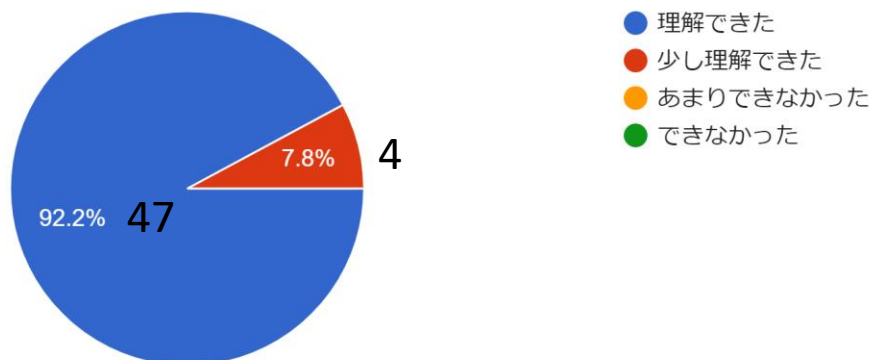
『 県南保健所所長 安藤隆雄先生の講演について 』 についての講演を聞いて理解できた、  
または理解できなかった内容など感想をご記入ください。

25件の回答

- ①データでみてみると、雲仙市においても課題が見えてきました。
- ②統計を詳しくお話しただけで、島原市の特徴がよくわかりました。
- ③データがとても分かりやすく、島原市の現状と課題がよくわかりました。ありがとうございました。
- ④島原市とよく似た地形である五島市と比較することで、地域にとって見取りの体制がずいぶん異なることを感じた。
- ⑤五島市との比較非常にわかりやすかったと思います。
- ⑥五島市と島原市との看取りについて、五島市の方が多い。在宅医療に携わるスタッフの数も多いということ。今後、高齢者を少ない若い方が支える世の中になっていく。
- ⑦介護認定審査会に参加していて間に合わなかったので、資料だけ確認させていただきました。
- ⑧島原市が在宅医療の面で充実している事が分かり誇らしい一方で、その割に在宅・施設での看取りの比率が低めである事は課題だと感じました。
- ⑨超高齢化社会のリスクがよくわかりました
- ⑩今後、高齢者の増加に伴い自宅または施設での看取りを行わないと医療がパンクしてしまう。
- ⑪医療崩壊の危機 怖いです。
- ⑫高齢者がどこで最期を迎えさせたいかのアンケートがあるが、ご家族がどこで最期を迎えさせたいかのデータがあったら知りたい。
- ⑬五島市と島原市の比較が興味深く聞くことができました。
- ⑭島原市の現状がわかった。
- ⑮五島市での在宅（自宅）看取りが増えた原因について知りたいと思いました。将来多死社会になるとの話も印象に残りました。
- ⑯地域のおかれている状況がわかりました。
- ⑰五島市との比較を教えていただき、島原ももっと頑張れると思いました。
- ⑱在宅や施設での看取りが多いことを知った。
- ⑲島原市の状況がわかりやすかったです
- ⑳島原市、南島原市の現状がとてもわかりやすかったです。施設看取り、在宅看取りをすすめていくためにはというところを今後しっかり考えていきたいと思います。
- ㉑データを数値化していただき理解度が高くなりました。数字には、説得力があります。
- ㉒数値化することで現状がわかりやすかったです。もっと、施設や在宅での看取りが増えるには、施設職員として何をしなければいけないか改めて考えることができました。
- ㉓これからの医療を考えると、在宅医療は、需要がある。その中で、島原の在宅医療をもっと発展しなければならないと思った。
- ㉔島原市の特徴として、在宅看取り希望が多い中、できない現状に訪問係を検討し、ACPのあり方を考えたいと思いました。
- ㉕地域住民と一緒にあって、在宅医療や在宅看取りは拡大していくもの。

2、（2）特別養護老人ホーム淡淡荘 施設長 増田繁一郎氏の講演について

51件の回答



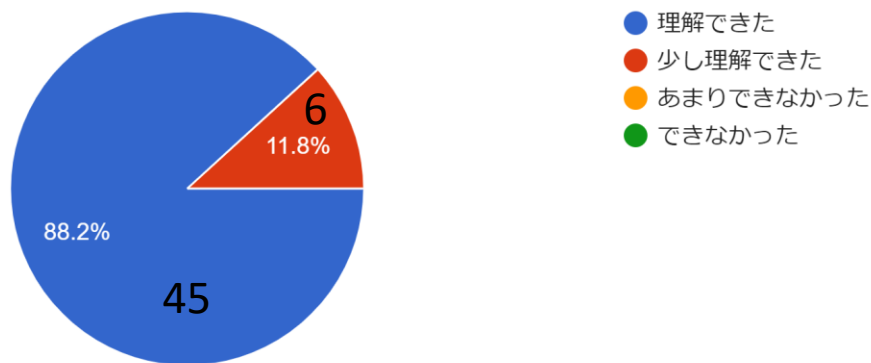
『特別養護老人ホーム淡淡荘 施設長 増田繁一郎氏』の講演を聞いて理解できた、または理解できなかった内容など感想をご記入ください。

25件の回答

- ①施設スタッフ間で共有すること、家族とのコミュニケーションがとても大切だと感じました。
- ②病院で勤務する身としては、施設での見取りがこんなに浸透していることを知ることができて大変ありがたく思いました。管理者の素敵なビジョンが職員さんにも伝わっているところも素晴らしいと感じました。
- ③淡淡荘様のお看取りに対する好評は耳にしたことがあり、その理由がわかった。
- ④科学的介護実践に向けてスタッフ一丸となって突き進んでいきたいと思います。
- ⑤看取りのイメージを亡くなるまでのお世話ではなく幸せのサポートという考えが前向きになれると話されて、今後そのような気持ちで接したいと思えた。
- ⑥とても良い取り組みをされていると感じました。
- ⑦お元気な時には自立支援介護を推進し、看取り状態になれば、しっかりとお世話をを行い、本人様にも家族にも良い終幕を引いて頂きたいと思えました
- ⑧幸せに穏やかに逝くための前向きなフォローとしての看取りという考え方に感銘を受けました
- ⑨施設における看取りについての考え方、向き合い方。それを行うにあたってハード・ソフト両面での整備も必要である。
- ⑩ポジティブ
- ⑪多職種連携することで、施設看取りが行えていることがわかった。
- ⑫昔の看取りのイメージと今の看取りのイメージの違い。看取りに入る前の自立支援の話も良かったです。
- ⑬家族とのコミュニケーションが大事だと思った。
- ⑭看取り介護における施設の取組について、具体的に知ることができて参考になりました。人生の最終段階における本人家族の意思確認について、淡淡荘ではインテーク会議で確認しているとのことでしたが、講演の中でもあったように意思確認のタイミングが難しい事例もあると思います。施設として、初めての意思確認（インテーク会議で確認することが難しかった場合）や定期的な意思確認はどのようなタイミングで行っているか、工夫している点など教えていただきたいです。
- ⑮家族・本人様のかかわり、説明の大切さ
- ⑯ポジティブなかわりありがとうございます。参考になります。
- ⑰1on1フィードバックや看取り介護の理解の考え方が素晴らしかった。淡淡荘素晴らしいと思った。
- ⑱ポジティブに取り組まれているところがいい看取りにつながるようになりました。
- ⑲数をこなす（言葉は悪いですが）経験と不安が反比例である事がわかった
- ⑳講話後の質問に対する返答ですが、職員のモチベーションを保つために毎月3回面談を行っているということで、上司の方が直接職員さんの声を聞くという機会は、職員さんのケアに繋がるんだろうと感じました。またそれをわかってきっと毎月3回面談を行ってらっしゃるんだろうなとも思いました。勉強になりました。
- ㉑特養での看取りの取り扱い方などわかってよかったです。
- ㉒施設勤務の看護師として同じ思いがありました。看取りを受けられるご本人は勿論、家族との関わりが難しいんだと実感しました。今後の「看取り」の参考にさせていただきます。
- ㉓看取りをする施設の実際の看護介護を知る事ができた。
- ㉔食べられなかったら病院！という考えから、住み慣れた家のような施設で、最期を明るく幸せにという流れについて感動しました。よろしく願いいたします。
- ㉕組織が変わろうとすることがスタッフを動かすこと。

## 2、(3) 『ケアハウスしまばら 介護福祉士 森川 末美氏』の講演について

51件の回答



『ケアハウスしまばら 介護福祉士 森川 末美氏』の講演を聞いて理解できた、または理解できなかった内容など感想をご記入ください。

22件の回答

- ①多職種で関わり、最期を支える素敵な事例でした。ありがとうございます。
- ②本人に寄り添う姿勢が感じられた。
- ③特養ではない施設でも看取り介護をされている事を初めて知りました。
- ④本人様、ご家族の希望する看取りに元気な時から話し合い、皆さんの希望に添えるケアを提供されている。今後のケアの参考にしたい。
- ⑤実際の事例紹介があって理解しやすかったです。
- ⑥しっかりと多職種連携で本人にも家族にも理解をして頂いた看取り介護を行ったのだと感じました
- ⑦実際の事例でよくわかりました。もう少し具体的にどうケアしていったと教えてもらえたらもっとよかったかなと思いました
- ⑧感染症が心配される中、ご本人とご家族に寄り添った対応がなされていると感じた。
- ⑨いろいろな職種の方の取り組みを聞いて勉強になりました。
- ⑩事例を聞かせていただき、本人・家族に寄り添い支援されていることを感じました。
- ⑪丁寧な本人、家族に寄り添いケアされていると思った。
- ⑫看取り介護における施設の取組について、具体的に知ることができて参考になりました。人生の最終段階における本人家族の意思確認について、講演の中でもあったように意思確認のタイミングが難しい事例もあると思います。施設として、初めての意思確認や定期的な意思確認はどのようなタイミングで行っているか、工夫している点など教えていただきたいです。
- ⑬本人様の思いに寄り添っておられたことが十分にわかりました。
- ⑭具体的な事例良かったです。
- ⑮自分にできることは何か考えることが大切なのだと思います。
- ⑯本人・家族の意向を確認され取り組みが行われていることがわかりました。
- ⑰事例をもとにお話をしてくださり、とてもわかりやすかったです。また、入所時からご本人の人生史ではないですが、人となりだったり、ご希望を聞いてこられていたからこそできた看取りであり、改めてACPの必要性を感じました。ありがとうございました。
- ⑱状況に応じて、できる限りの対応がされていることが伝わってきました。
- ⑲当施設で看護師として勤務し、事例対象者に直接関わらせていただきました。この機会に、改めて振り返りができたので、今後の「看取り」を悔いのないものにしていこうと思いました。
- ⑳ケアハウスしまばらさんでも、看取りを行っている事を初めて知る事ができた。
- ㉑症例にてACPのあり方を考えることができました。
- ㉒ケアハウスでも看取りをされるということ

### 3、グループディスカッションに参加してのご意見ご感想をお願いします。

35件の回答

- ①様々な考えが聞けて有意義な時間でした。
- ②他職種、他施設の方と話す機会があり、大変有意義でした。今後もぜひ、地域のいろんな職種、施設の方とお話する機会があれば参加させていただきたいと思います。
- ③四人のはずが3人グループで一人は音声がはずれ、マンツーマンの会話になってしまいましたが施設での看取りに対し詳しいお話を聞くことができ、良い学びができました。
- ④在宅での看取りはほとんど聞いたことがなかったが、病院では在宅で看取る事があると知った。重篤な病気の患者さんに関してはある程度期限があるが、高齢者とかではいつまでかわからないところもあり、難しい部分もあるのかと思う。
- ⑤施設は夜間などスタッフが限られ、不安なことも多いよう。その不安をなくすためにも医者、看護師は連携を取ることが大切だと思う。
- ⑥3名だけでしたが、色々お話をできて良かったです。
- ⑦ミュートを解除しても、こちらの声を届ける事が出来なかったのが心残りでした
- ⑧淡々荘さんの取り組みを聞いて、家族としては安心して看取りをお任せできるなと思った。
- ⑨仕事の都合で聞くだけの参加になってしまって申し訳ございませんでした。もっと色々聞いたり話したりしたかったです。本当にすみませんでした
- ⑩施設での見取りに対する取り組みは進んでおり、学ぶ事が多かった。信頼関係が一番大切であることをあらためて感じる研修でした。
- ⑪看取りについて個々の意見を聞くことができ良かったです。
- ⑫2人での意見交換でした。細かい所までは話せませんでしたが、講演前と比べるとお互いに「看取り」に対して違った角度からの見方ができるようになったと感じた。
- ⑬時間が足りないくらい、多職種で意見交換ができました。
- ⑭人数が少なかった。時間も15分、短く感じた。
- ⑮いろいろな看取りに対する思いを聞くことができました。
- ⑯グループにいろんな職種の方がおられたので、他の方の意見は参考になりました。
- ⑰多職種、医師の先生方の話、いろんな考え方が聞けて大変よかったです。
- ⑱いろんな施設の意見を聞いてよかった。
- ⑲とてもいい会になりました。
- ⑳様々な関係者の方と顔を合わせて、情報交換ができとても有意義でした。
- ㉑色々な情報が聞けて勉強になりました。
- ㉒いろいろな意見を聞いて勉強になりました。
- ㉓意見を聞き、学びが深まった。
- ㉔皆よい意見がでました。多職種のグループワークは良いです。
- ㉕看取りについて、職場で関わられるようになりたいと思いました。
- ㉖色々な職種の方の意見がきけて良かった。勉強になりました。
- ㉗様々な職種の方とグループワークができて良かったです。貴重な時間でした。
- ㉘直接かかわっておられる方々の話が聞けて良かったです。
- ㉙それぞれの立場で看取りの考えと、実際の状況と管理的な立場のかたが多く、課題への取り組み、明確になった内容など知ることが出来た。
- ㉚講師の先生のお話を聞いて、このように想いが変わったなど、多職種の方の意見を聞いて、とても新鮮で楽しく、また学びにつながりました。このような研修の機会に参加させていただき、ありがとうございました。
- ㉛ファシリテーターの方とマンツーマンでのディスカッションになりました。こちらの経験談を聞いていただく場になってしまいました。
- ㉜他施設で多職種の方々と和気あいあいとお話ができて、大変楽しかったですし、勉強になりました。
- ㉝島原のAPC啓発をどんどん進めていって欲しいと思います。医療従事者として、微力ながら、協力していきます。
- ㉞多職種の関りの中で、ACPIについて考えることで、よりよい、その人らしい人生を生きてほしいと思いました。
- ㉟活発な意見交換がなされ有意義だった。

4、今後受けたい「研修内容」や「在宅医療・介護連携」に関してのご意見等、自由にご記入ください（今後在宅医療サークルで行いたいことなど）。 14件の回答

- ①大変興味深く参加させていただきました。ありがとうございました。
- ②本日は参考になる研修ありがとうございました。
- ③今回発表された以外の施設（クリニックではなく病院と嘱託医契約を交わしている所や、嘱託医契約のないグループホームやサ高住）での看取りの実情と問題点などについて。
- ④1.科学的介護 2.島原市全体としての看取りによる最期の件数増加への取り組み
- ⑤薬剤師としては外来から在宅へのフォローはしていますが看取りという概念にはほとんど参加できていませんでした。現実の話聞いてとてもよかったです。なんだか、とても安心できました。今後はそこまで見越しての関わりができていければ、薬の方は任せてもらえるという体制になればいいなと思いました。今後も可能な限り参加できればと思います。ありがとうございました
- ⑥事例を通して看取りまでの対応
- ⑦今回施設というケアを行う側のお話を聞かせてもらい、本人や家族のためにより良い最期を迎えるために本人の価値観や思いを尊重しながら対応してくださっていることが分かりました。在宅もしくは施設で看取った家族側の生の声、ケア側の生の声、このそれぞれを、専門職や住民の方にも聞いてもらおうと、ACPの考えなどが広まる機会にもなるのではないかと感じました。ありがとうございました。
- ⑧お疲れさまでした。
- ⑨今後もACPの研修に参加したいです。
- ⑩良かったです。
- ⑪いろんな施設を見学したいです。
- ⑫他グループの意見も聞きたかったです。
- ⑬ACPの現状、連携時の問題点。
- ⑭症例などあれば心に残りますね。
- ⑮病院（施設）の退院支援を行う専門職の活動報告で特にお看取りを主体とした連携について。